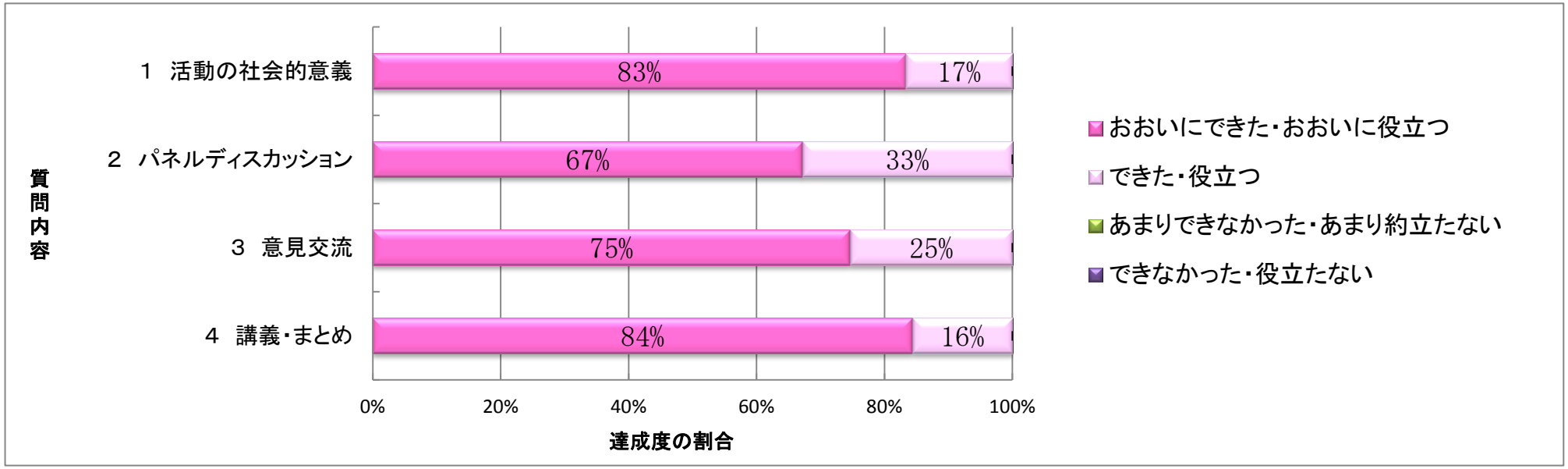
平成 28 年度「ワクワク学び隊」実践交流会　参加者振り返りアンケート集計

＜質問内容＞

１：本交流会において，自分たち（大学生）の活動が社会的に意義あることを再確認することができましたか。
２：パネルディスカッションの内容は，今後の取組や活動の参考になりましたか。
３：意見交流は，今後の取組や活動の参考になりましたか。
４：講義・まとめの内容は，今後の取組や活動の参考になりましたか。



＜質問内容に対する回答の理由等の記述から＞

大学生

○　今までは自分の力にもなるし楽しいからという気持ちで活動してきましたが，子供たちや自分たちの暮らす町のために役に立つことを再認識できました。
○　先生でも家族でも友達でもない私たちが「斜めの関係」を子供たちと築いていくことで子供の活動の輪がさらに広がっていくのだと思いました。
○　自分たちだけで活動していると活動の幅や視野が狭くなってしまうけれど，全てのチームの多様な活動を知ることができ，今後の参考になりました。
○　他のチームも自分たちと同じ喜びや悩みを感じていることが分かりました。また，解決方策も聞くことができたのでとても良かったです。
○　いろいろなチームや教室関係者の方と関わり，活動内容の工夫や課題に対するアドバイスなどをたくさん聞けて今後の活動に生かすことができます。
○　コーデイネーターさんとの連携は，とても大事だと改めて感じました。
○　「ワクワク学び隊」でやってきたことは地域の教育力にもつながっていることが分かり，活動への意欲がますます高まりました。

大学・教室関係者

○　大学生が子供たちのために真剣に工夫しながら取り組んで活動していることがよく分かりました。
○　大学生の気持ちがとてもよく伝わりました。今後は，大学生まかせではなく，ボランティアもしっかりとフォローしていきたいと思いました。
○　いろいろなチームの大学生と交流ができ，事前の段取りや活動内容について聞くこともできました。次年度の計画をたてるとても貴重な会となりました。
○　「ワクワク学び隊」，「放課後子供教室」の重要性を再認識することができました。
○　「地域の教育力」の大切さを痛感しました。志々田先生の講義はとても分かりやすく，子供たちを「～したい」という気持ちに育てていきたいという思いを強くしました。